

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●職場でも節電を心がけましょう

皆さんは、職場で節電を意識していますか。オフィスでのエネルギー消費の割合は、省エネルギーセンターホームページによると、空調28%、照明40%、コンセント32%となっています。

今回は、オフィスでの消費エネルギーを減らすためのアイデアをご紹介します。

●エアコンの節電

夏の冷房時の室温は28℃を目安にしましょう。扇風機を併用すれば、より涼しく感じることができます。

●照明の節電

必要のない明かりはこまめに消し、明るさを調整できる照明器具は照度を下げましょう。

※その他にも、クールビズやノー残業デーを推奨する、省エネタイプのOA機器を導入するなど、職場でも節電を心がけましょう。



●たはら節電ライトダウン2012夏 市内76施設で実施中

田原市では、例年、夏季および冬季に「ライトダウンキャンペーン」を実施し、市内多くの事業所や公共施設で、不要な照明の消灯を呼び掛けています。今回のキャンペーン期間は、6月21日（木）から8月31日（金）で、市内76施設から参加の申し込みがありました。



参加施設などの詳細については、ホームページをご覧ください。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1832人・事業所80か所（6月末現在）

▼エコエネ推進課

☎23局74011 FAX 23局0180

http://www.city.tahara.aichi.jp/

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん③



皆さんが出しているごみの中には、リサイクルされるだけでなく、お金になる資源ごみがあることをご存知ですか。今回は、資源ごみについてご紹介します。



●お金になる資源ごみ

●鉄くず類

●売却代金約880万円
壊れた自転車、金属製品、空き缶や小型の廃家電など

●古紙・繊維類

●売却代金約4100万円
段ボール、新聞、雑誌、紙パック、古着など

●ペットボトル・プラスチック容器類

●売却代金約950万円
洗剤やシャンプーのボトル、カップ麺の容器など



※各資源ごみの売却代金は、平成23年度の合計額です。これらは、市の収入となり、皆さんの生活に役立てられています。

●ごみを出す前に確認を

何気なく燃やせるごみなどに出していたものでも、資源ごみだということがありませんか。次の点に気を付けて、分ければ資源、分けなければごみという気持ちで、分別に取り組んでみましょう。



●リサイクル可能な紙類が「もやせるごみ」の中に混ざっていないか
●プラマークの付いた容器類を「もやせないごみ」に出していないか

●分別することのメリット

- ごみの減量
- ごみ処理経費の削減
- 限りある資源の有効活用
- 地球環境の保全
- 「少しでもなら大丈夫」という気持ちは捨てて、さらなるごみ減量と分別にご協力をお願いします。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX 23局0180

